

身近で手軽な大衆娯楽

パチンコ・パチスロ

山形県遊協

新年挨拶

阿部理事長
井上理事長

発行所 山形県遊技業協同組合 〒990-0057 山形市宮町5-10-19 電話023-615-6922 FAX023-615-6923
Eメール yamagata@zennichiyuren.or.jp HP http://www.yamagatayukyo.jp/

2020年新春 新年のご挨拶

全日本遊技事業協同組合連合会

理事長 阿部 恭久



新年あけましておめでとうございます。皆様方には、益々ご健勝で輝かしい2020年の新春を迎えられましたことを心からお慶び申し上げます。また平素から、全日遊連の諸活動に対し、ご支援、ご協力いただき、誠にありがとうございます。誠に厚く御礼申し上げます。厳粛な新年を迎え、私も身を引き締めて、新たな気持ちで前向きに歩むべく、決意を強固にしていると、心から申し上げます。

昨年、業界が進める「高射幸性回胴式遊技機」の撤去に向けた自主規制、また依存問題対策の進捗調査をはじめとした各種調査等、組合員の皆様のご協力により、様々な取り組みがなされて、一昨年に施行されたギャンブル等依存症対策基本法に「ギャンブル等依存症問題啓発週間」が定められました。初めての同啓発週間を迎えるにあたり、昨年5月には21世紀会で組織した実行委員会主催により、東京・中野において「パチンコ・パチスロ依存問題フォーラム」を開催し、安心パチンコ・パチスロアドバイザー制度を始める5月14日に開催する予定で、準備を進めています。

その結果、現在では、全国に約3万3,000人のアドバイザーが育成されており、今年度は普及、定着に続く次の段階として、アドバイザー講習受講者の更なる質的向上に資する取り組みの検討を行って参ります。また、私たちがパチンコ・パチスロは、かつては国民にとつて、最も身近で誰もが楽しめる娯楽であり、余暇を楽しむレジャーの代表として確固たる地位を築いておりました。

遊技人口の減少の理由は、時代の变化、レジャーの多様化等によるなどの見方もございますが、お客様がパチンコから離れていった最大の原因は、気軽に楽しく安心して遊ぶことができ、以前は、少々の待ち時間などでも気軽に楽しんでいたパチンコが、今では、長時間の遊技が前提となり、また資金についてもある程度用意した上で足を運ばなくては遊べないというのが現状であり、気軽な娯楽とはとても言えません。この状況をただ静観していたら、ファン層を狭げていき、お客様は、日頃の疲れを癒すため、また日々の生活の中で楽しめる非日常の空間を求め、ホールに足を運ばれず、こうしたお客様に期待にこたえなくてはなりません。

私たちが、日本の代表的な娯楽であったパチンコが、もう一度遊技人口の拡大を目指すには、まずは私たちホール営業者が率先して「お客様あつての大衆娯楽である」という認識のもと、ひとりひとりが、現状を変えていくという意識を持つことが必要だと思っております。くわえて、お客様の期待に沿える場を提供するために、全日遊連としては遊技機の低価格化、遊技環境の見直し、また新基準を遊技機の店舗への導入に関して市場への供給が追いついていない問題についても、他団体等と協議を進め、早急な改善に向けた手立てを講じていく必要があります。

厳しい状況である業界の再興に向けては、全国のホール現場におられる組合員の皆様、各都府県方面組合の方々、遊技メーカー団体を始めとした関係団体のお力をお借りしなくては、成し得ません。結びに、あつたお力をお借りし、今年こそ業界の努力が実を結び、希望に満ちた一年となるよう、関係各位のご支援、ご協力をお願い申し上げます。皆様のご健勝とご多幸を祈念申し上げます。

2020年 新年の挨拶

山形県遊技業協同組合

理事長 井上 静夫



明けましておめでとうございます。組合員の皆様には、ご健勝で輝かしい2020年の新春を迎えられましたことと心からお慶び申し上げます。平素から、県遊技業協同組合の諸活動に対し、ご支援、ご協力いただき、誠にありがとうございます。誠に厚く御礼申し上げます。

昨年5月から天皇陛下の譲位により年号も令和に変わり、初めての新年を迎えました。今年も業界にとつては前途多難な年になりそうです。高射幸性回胴式遊技機の15%問題に揺れた2019年でしたが、今年1月の15%完全達成、来年1月の5%達成問題が至上命題として大きく立ちはだかってきております。

中古機市場にも出回らないという根本的問題が解決されず、中小ホールにとつて経済的にも大変厳しい状況に陥っています。一度決めたことに対するたび重なる撤去延期に関して、世論からの批判も大きなものがあります。中小ホールにとつて自店の撤去計画通りに入れ替えるのが困難な状況に陥っています。

昔のように、手軽に少ない資金で短い時間でも遊べる台の開発、休眠中のお客様が気軽に戻れるようなニーズにこたえられる遊技機の再構築、掘り起こし、遊びが多角化して分散している現代社会においても、新規のお客様に魅力を感じてもらえるような遊びの提供、そのようなお客様に門戸を広げたいというホール側の要望と、依然として出て来るのは遊ぶのに多額の資金と長時間の遊技時間が必要なしかも高額な台、業界の中での mismatches が依然として解決されていません。

1000軒のホールが7000軒まで縮小されるだろうと、公然と囁かれています。小さなホールの減少は、お客様の遊び方を結果的に狭めてしまい、更なる遊技客の減少に結びついてしまいかねないと思っております。業界全体が、何となくお客様の減少に歯止めをかけ、新たなお客様の掘り起こしに一丸となつて取り組まなければならない時代に突入していると思っております。

一握りのお客様の奪い合いではなく、市場規模の拡大を図らなければなりません。待ったなしの時代を迎えたといつても過言ではないと思っております。更に4月からの喫煙環境の変化があります。店内禁煙の義務化です。タバコを吸わないお客様には朗報ですが、喫煙愛好家には厳しい環境になります。禁煙にするだけでは、店内のタバコの臭いは消えないから行かないという厳しい意見も聞こえてきます。どちらのニーズにもこたえなくてはならないホールは、難しい店舗環境の構築を迫られることになっていきます。しかしながら、新たな新規客の開拓に、欠かせない避けて通れない道だと思っております。店内禁煙を進めながら、更なる心地よい店舗環境の整備が求められると思っております。

今年も東京オリンピックの年でもあります。世界中の観光客があふれるでしょうし、これらの人々のパチンコ業界に対する印象や感想も聞いてみたいものだと思います。組合員の皆様も、厳しい環境ではありますが、業界の明日に向かって力を結集し、業界発展のための一年となるようご協力、ご支援をお願い申し上げます。